



水卷中學校舎

プール等建設決る

生徒数約二校舎建設は既に當初預算千を有するにも計上され、先にも上届された水巻町制約條例及び今年度、新校舎 四階上層の水巻町財源及び、三年 び普通物産物によつて實現生に、頃末 されるべく建設されては、小学校に二 もので、上届された議案は、年 生を削減 委員一致可決、建設についりさせてい の主体となるべき委員會たが、表 に出しては、協議會理事上十二日第七 木委員會を中心とし各委員 同定例議會 會が協力してやることに決に於いて更 定された。

生れるか水巻高校

獨立問題教育委附託

三十日 議會には水巻高等 同校は、新制中學校卒業後、 學校設置についての案が上 勞務基準法等により一時ア ランクを有する者や、働く 若少年の爲に定時制高校 として設立し、現在職員 十三、生徒数一五五、普通 科と工學科を設けているが 得たときの名前であり、現 在日英四坑元青年學校を借 用し、中 學 火用水巻と併せて生徒の水

もあることから、一般父兄 學校制からの熱望もあり、 九月一日を期し獨立校とし て發展すべく建設委員會 申請しようとするもので あり、二小校は將來特別校 校の準備に用いられる前 である。プールは長さ二十 五米、七コースで現在小 學校に在るものと同一設計 の校舎は、四校現校舎の 建設である。

水巻町印鑑條例決る

三十日、議會では、前議會で總務委員會に附託した印 鑑條例の修正案を可決した。本町には従来印鑑證明に ついての規定がなく、印鑑證明は本人への交付すべ き取柄も、暫く見送さねばならぬ事實があつたので上 届修正可決されたものである。

第一條 印鑑の届出及び 其の証明を受けようとする者は、法令の定めるところは、外本條の定めるところによる。

第二條 印鑑の届出(改印を含む)第三條、第四條(第七條亦同)は本町に住所を有し、若しくは寄居する者又は本町に在る法人、若しくは其の代表社員に限り之を受理す。

第三條 左の各號の一に該當する印鑑の届出は受理しない。

一、法人の印鑑を除く外

二、ゴム印

第一項但書の場合町長は必要ありと認むるときは、保證をなす者を指定することができる。

町長は前各項により届出を受理したときは、町印鑑證明に印鑑を押捺しななければならない。

第五條 届出の印鑑は一人一箇に限る。

第六條 印鑑の證明を受けようとする者は自ら役場に出席して口答で届出なければならぬ。但し正當の事由によつて、届出人が自ら出席することができないときは、本町役場に印鑑の届出をした成年者による保証人連署の出席不能理由書、並びに

第一條 買賣、貸借、請負 其の他の契約を爲す場合は法令其の他別に定めがある場合を除く外この條例の定めるところによる。

第二條 第三條及び第四條の規定による場合を除き契約はすべて、一般競争入札に付さなければならぬ。

第三條 左に掲げる場合には隨意契約によることことができる。

一、契約の性質又は目的が競争を許さないとき

二、急務を要し競争入札に付する暇がないとき

三、國、公共團體又は公益關係と契約をなすとき

四、契約を結んだ後これと関係して追加契約をなすことが利益であるとき

五、見積価格が十万円を超えない物件の買入れをなすとき

六、見積価格が三十万円を超えない物件の買入れをなすとき

七、見積価格が五十万円を超えない物件の買入れをなすとき

八、貸借借料の年額又は總額が十万円を超えない物件の買入れをなすとき

九、貸借借料の年額又は總額が二十万円を超えない物件の買入れをなすとき

十、貸借借料の年額又は總額が三十万円を超えない物件の買入れをなすとき

十一、産業、學術又は技術の保護獎勵のためこれに必要な財産の買入れをなすとき

十二、一定價格により同時に多数の者から買入れをなすとき

十三、特定人の外他に求め難い物件の買入れ又は工事の請負をなすとき

十四、競争入札に付するに不利又は不適當と認めるとき

第四條 左に掲げる場合には三名以上を指名し競争入札に付する事ができる。

一、急務を要し一般競争入札に付する暇がないとき

二、一般競争入札に付するも入札人又は落札人がないとき

三、見積価格が百万円を超えない財産又は物件の買入れをなすとき

四、見積価格が二百万円を超えない物件の買入れをなすとき

五、貸借借料の年額又は總額が三十万円を超えない財産又は物件の買入れをなすとき

六、貸借借料の年額又は總額が百万円を超えない物件の買入れをなすとき

七、貸借借料の年額又は總額が八百万円を超えない工事その他を請負をなすとき

八、物件の買入れ、財産の買入れ又は工事その他を請負以外の契約でその買入れ価格が五十万円を超えないとき

九、特に指名競争入札に付する必要があると認めるとき又は一般競争入札に付するに不利又は不適當と認めるとき

十、前條の規定により隨意契約によることのできる場合においても指名競争入札に付することとを妨げない。

(以下次號)

農業委員願ふれ

七月廿日決定した水巻町農 業委員の氏名は次の通りである。

大塚重九郎(無)農長

瓜生規矩夫

茶田 繁雄

江田 大郎

江田 英敏

一 美

中 平

小田 久雄

永沼 一朗

船田 金雄

船田 敏雄

船田 七造

(無投票當選用出願)

大衆と群衆

かの戦時中に、我々の不届い意志に含滲させるといふ 在願中心を掲げる爲に、「より、むしろ自己の意志の 民族」という言葉をよく用 存在を知覚せず何者かその いられた。誰かが「世界は 根柢であるとも知れぬ大き 二つある。自己の世界、自 己を包含する世界」といつた 己を包含する世界」といつた 己を包含する世界」といつた 己を包含する世界」といつた

はならない。だが胸許しや「大衆」という言葉をい さい我が民族は、この金條を を見つむることに該當感 じて個人意志以外の不確 の爲に、己れも雷同するこ 大衆とは「大衆」といふ 自己を包含する世界である 自己を包含する世界である 自己を包含する世界である 自己を包含する世界である

第一項但書の場合町長は必要ありと認むるときは、保證をなす者を指定することができる。

町長は前各項により届出を受理したときは、町印鑑證明に印鑑を押捺しななければならない。

第五條 届出の印鑑は一人一箇に限る。

第六條 印鑑の證明を受けようとする者は自ら役場に出席して口答で届出なければならぬ。但し正當の事由によつて、届出人が自ら出席することができないときは、本町役場に印鑑の届出をした成年者による保証人連署の出席不能理由書、並びに

第一條 買賣、貸借、請負 其の他の契約を爲す場合は法令其の他別に定めがある場合を除く外この條例の定めるところによる。

第二條 第三條及び第四條の規定による場合を除き契約はすべて、一般競争入札に付さなければならぬ。

第三條 左に掲げる場合には隨意契約によることことができる。

一、契約の性質又は目的が競争を許さないとき

二、急務を要し競争入札に付する暇がないとき

三、國、公共團體又は公益關係と契約をなすとき

四、契約を結んだ後これと関係して追加契約をなすことが利益であるとき

五、見積価格が十万円を超えない物件の買入れをなすとき

六、見積価格が三十万円を超えない物件の買入れをなすとき

七、見積価格が五十万円を超えない物件の買入れをなすとき

八、貸借借料の年額又は總額が十万円を超えない物件の買入れをなすとき

九、貸借借料の年額又は總額が二十万円を超えない物件の買入れをなすとき

十、貸借借料の年額又は總額が三十万円を超えない物件の買入れをなすとき

十一、産業、學術又は技術の保護獎勵のためこれに必要な財産の買入れをなすとき

十二、一定價格により同時に多数の者から買入れをなすとき

十三、特定人の外他に求め難い物件の買入れ又は工事の請負をなすとき

十四、競争入札に付するに不利又は不適當と認めるとき

第四條 左に掲げる場合には三名以上を指名し競争入札に付する事ができる。

一、急務を要し一般競争入札に付する暇がないとき

二、一般競争入札に付するも入札人又は落札人がないとき

三、見積価格が百万円を超えない財産又は物件の買入れをなすとき

四、見積価格が二百万円を超えない物件の買入れをなすとき

五、貸借借料の年額又は總額が三十万円を超えない財産又は物件の買入れをなすとき

六、貸借借料の年額又は總額が百万円を超えない物件の買入れをなすとき

七、貸借借料の年額又は總額が八百万円を超えない工事その他を請負をなすとき

八、物件の買入れ、財産の買入れ又は工事その他を請負以外の契約でその買入れ価格が五十万円を超えないとき

九、特に指名競争入札に付する必要があると認めるとき又は一般競争入札に付するに不利又は不適當と認めるとき

十、前條の規定により隨意契約によることのできる場合においても指名競争入札に付することとを妨げない。

(以下次號)

農業委員願ふれ

七月廿日決定した水巻町農 業委員の氏名は次の通りである。

大塚重九郎(無)農長

瓜生規矩夫

茶田 繁雄

江田 大郎

江田 英敏

一 美

中 平

小田 久雄

永沼 一朗

船田 金雄

船田 敏雄

船田 七造

(無投票當選用出願)

